

地域の文化資源アーカイブ

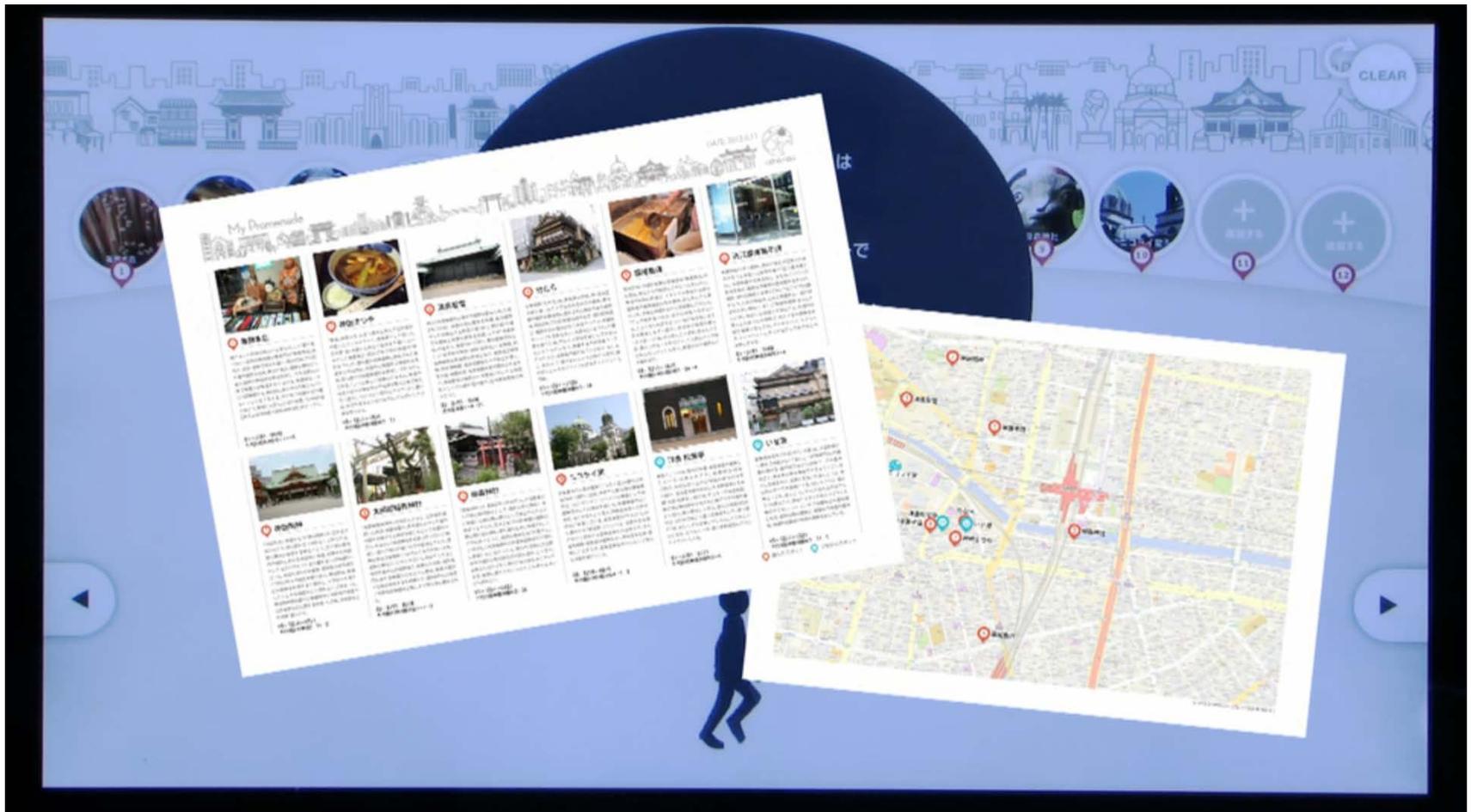
NPO法人連想出版

中村 佳史

お茶ナビゲート 街歩きステーション



連想によるスポット提案



お茶ナビゲート - 歴史ギャラリー



丹下健三 戦前の作品



2代目万世橋駅舎と復興後の表参町（土木学会土木図書館所蔵）

震災で師範学校は瓦焼。男子校にシフトして、1927年(1932)、大塚の新校地に移転します。この両校の広大な敷が現在の東京医科歯科大学です。また、神田明神は昭和9年(1934)に、コンクリート製本殿に、翌年、湯島聖堂も現在の大成殿が再建

岸記念体育会館時代

昭和 11 年(1936)～昭和 39 年(1964)

「大日本体育協会」2代目会長岸清一基金により岸記念体育会館建設委員会が発足し、昭和11年(1936)、この小弥太郎跡地は三菱武道場であった縁から譲り受けが決定します。しかしすぐに施設は建設されませんでした。日中戦争勃発により東京オリンピック開催は幻となり、施設の方針も定まらなかったからです。ようやく昭和16年(1941)3月に本造事務所2棟が落成しました。戦後になりやっとスポーツも復興、昭和39年(1964)念願のアジア初「東京オリンピック」が開催されますが、岸記念体育会館は、これに合わせて渋谷に移転しました。



岸記念体育会館（『日本体育協会七十五年史』より）

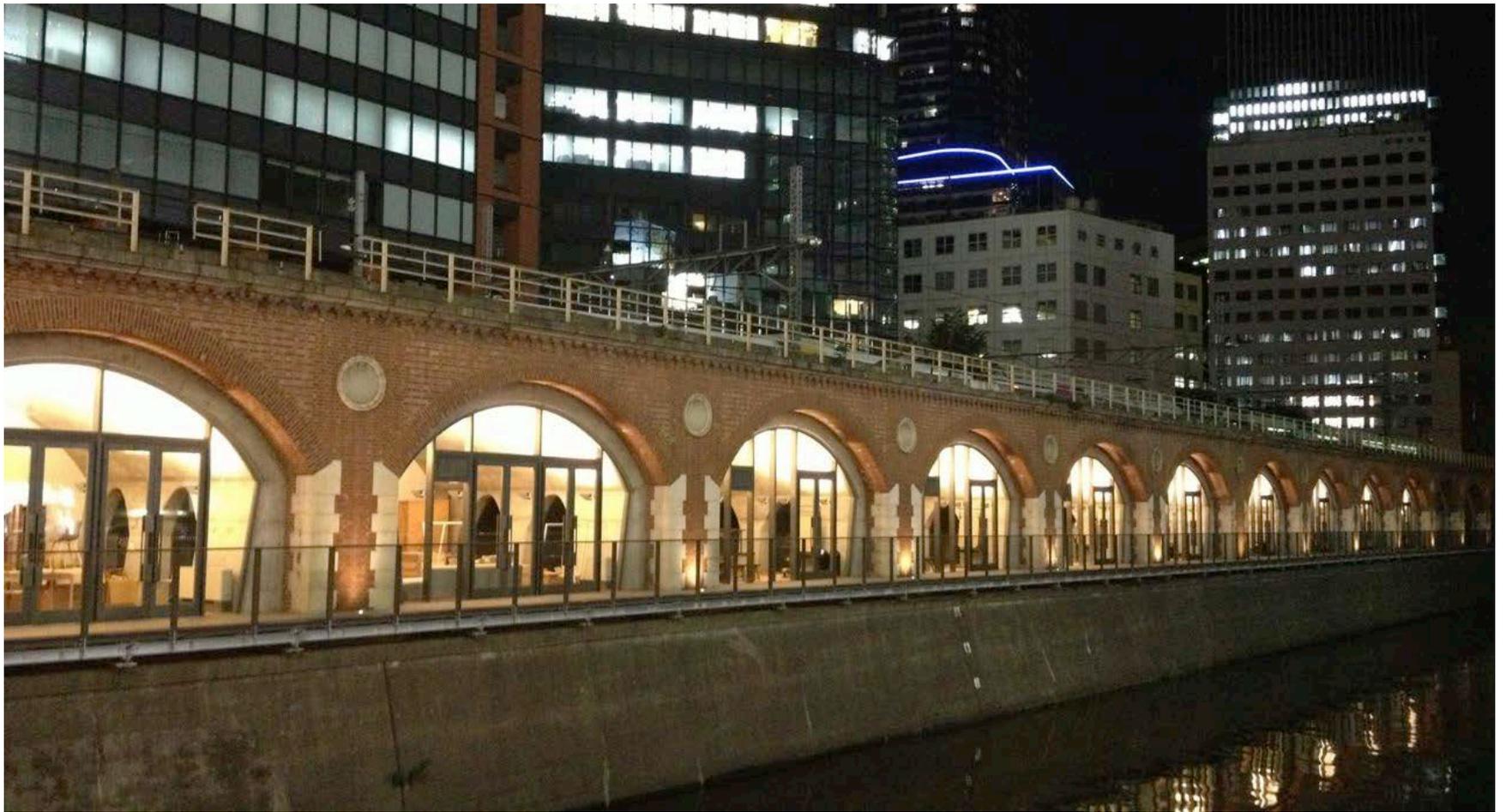


新校地にある岸記念体育会館（提供：岸記念体育会館）

街あるきツアー



mAAch ecute 神田万世橋 旧万世橋駅



『新永間建築事務所初代写真帳』



万世橋クロニクル



鉄道史,万世橋駅,中央線

April 1 1912 明治45年

号外 万世橋駅開業

いよいよ東京の中心部、神田須田町で工事が進められていた万世橋駅がこの日早朝開業した。盛大な装飾で開業を盛り上げ、多くの人々が詰めかけ夜中まで混雑が続いた



鉄道史,万世橋駅,中央線

April 1 1912 明治45年

万世橋駅開業記念花電車運行

万世橋駅開業を祝い、開業から3日間、2台の花電車が新宿・中野～万世橋間で運行された



神田須田町,地域,万世橋駅

May 29 1910 明治43年

万世橋駅予定地に廣瀬武夫中佐銅像建立

万世橋駅の開業予定地の広場に、廣瀬中佐と杉野兵曹長の軍神像が設置された。10m以上の巨大な像で、昭和22年に撤去されるまで長く万...

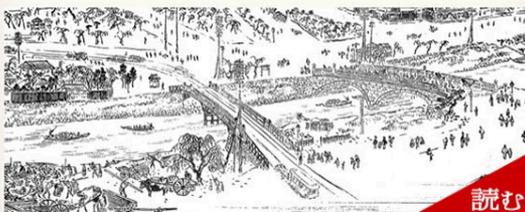


鉄道史,地域,神田須田町

1896 明治29年

東京馬車鉄道が万世橋に専用橋を開設

明治に入ってから万世橋付近を行き交う人の数は増加の一途をたどりますが、明治15年に東京馬車鉄道が開業しこの萬世橋の上を通過する...



鉄道技術史,中央線

March 1897 明治30年

地震予防調査会が鉄道高架橋に関する耐震対策発表

濃尾地震の発生後設置された「地震予防調査会」に対し、鉄道作業局から鉄道高架橋に関する耐震について、その対策に関する照会がな...

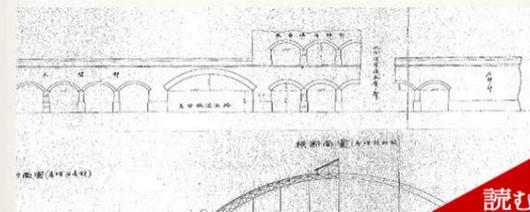


甲武鉄道,万世橋駅,中央線

December 5 1899 明治32年

甲武鉄道万世橋延伸の概要を提出

新たな東京の街の姿を計画する市区改正計画の中で、鉄道の整備も様々な検討がなされたが、明治32年、甲武鉄道が万世橋駅の計画を初め...



万世橋駅舎着工

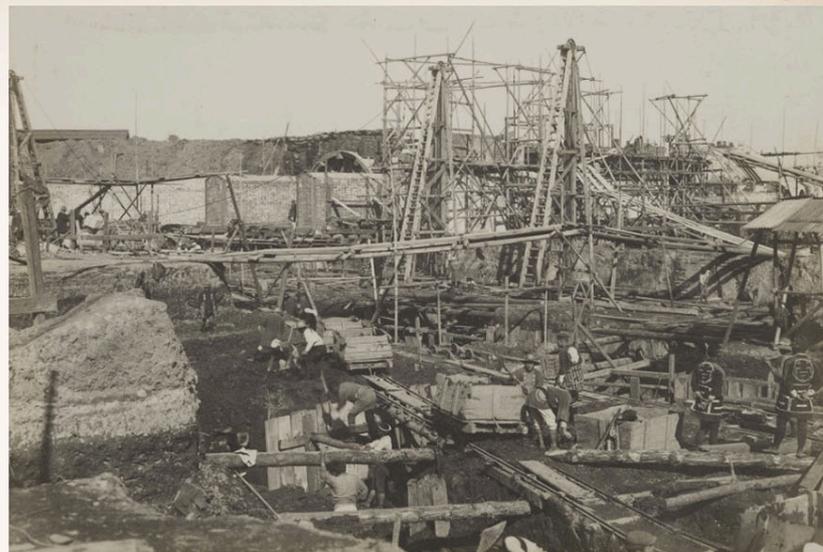
鉄道技術史,万世橋駅,中央線

万世橋駅開業す(明治後期)
August 10 1909 明治42年

我が国における高架鉄道黎明期の駅の形式は、当時大きく分けて2つのものがありました。

1つが有楽町停車場（有楽町駅）のように、高架下のスペースに駅機能のすべてをおさめてしまう様式で、現在の多くの駅に見られる、駅機能を線路敷地内に立体的に収容する形の原型といえるものです。

そしてもう一つが、高架線に沿う敷地に、独立した駅舎を建築する様式で、中央停車場（東京駅）、烏森停車場（新橋駅）、そして万世橋停車場がこの配置で計画され、中でも万世橋駅はこの形式で作られたわが国最初の駅になりました（烏森駅は1909年開業ですが、駅舎が完成したのは大正3（1914）年のことです）。当初、万世橋停車場の本屋については、甲武鉄道時代に横河工務所の大熊博士が設計を進めていましたが、甲武鉄道の国有化で工事が引き継がれた時点で、鉄道院が再度設計をし直すこととし、この際に辰野葛西建築事務所に委託され、明治42（1909）年8月10日に着工となったものです。辰野



万世橋停車場

Copyright © JR東日本 All Rights Reserved.



関連ニュース

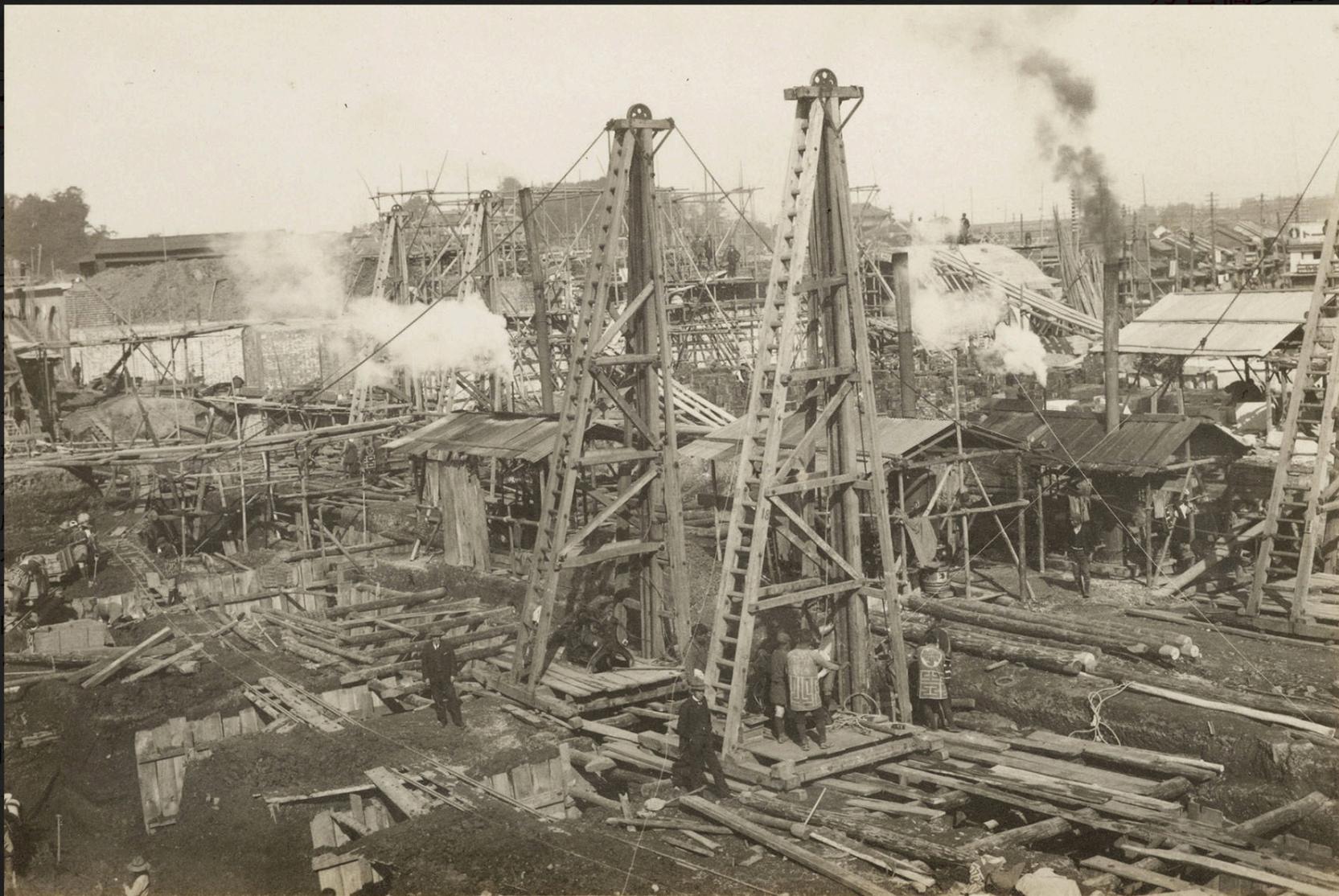
[万世橋駅舎竣工](#)

[明治後期] 鉄道技術史万世橋駅中央線

[万世橋駅開業](#)

[明治後期] 鉄道史万世橋駅中央線

万
一
統
我
の
一
能
能
そ
式
停
わ
完
の
め
道
託
関
万
万



万世橋停車場

Copyright © JR東日本 All Rights Reserved.

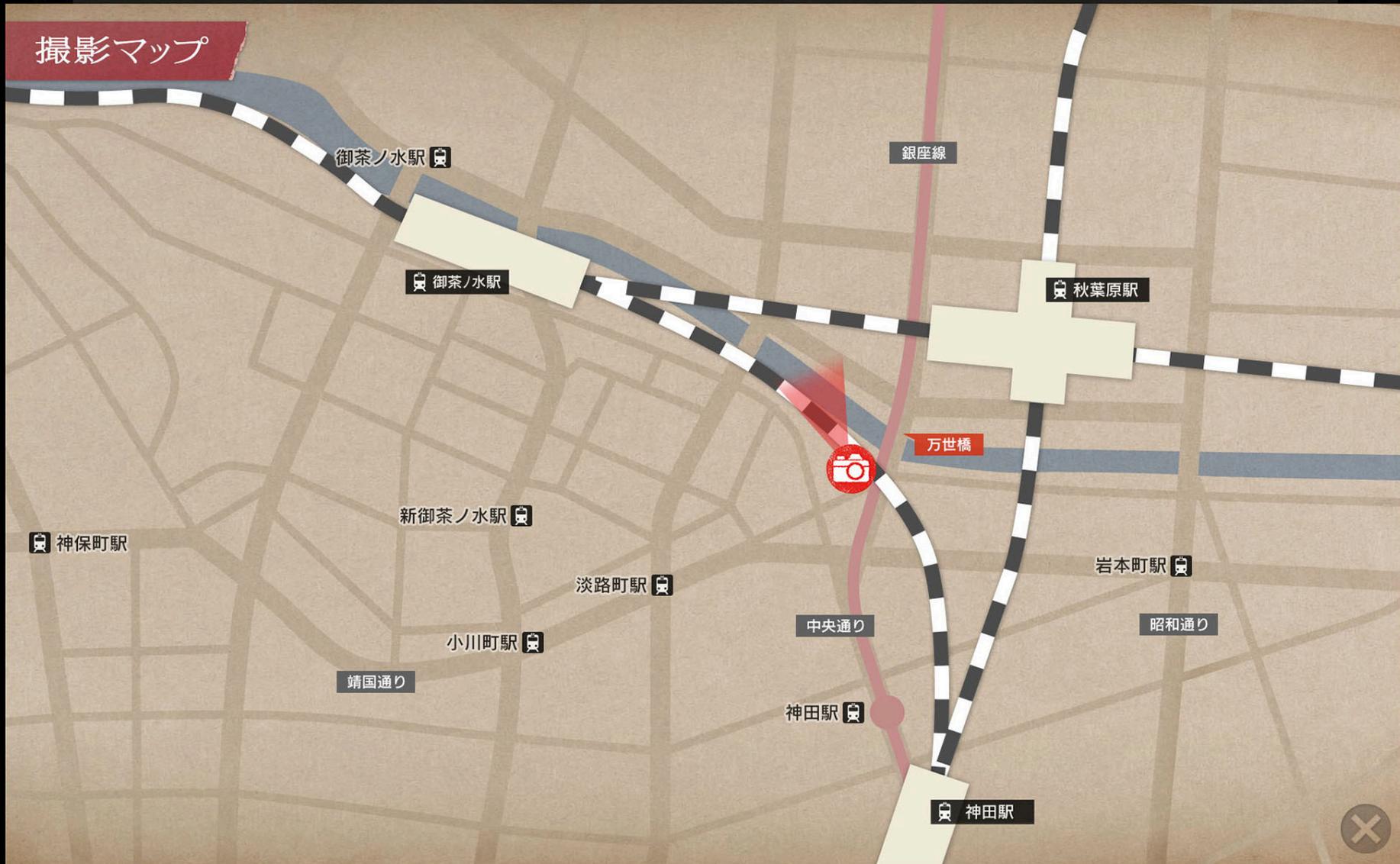


撮影場所のマップ





撮影マップ



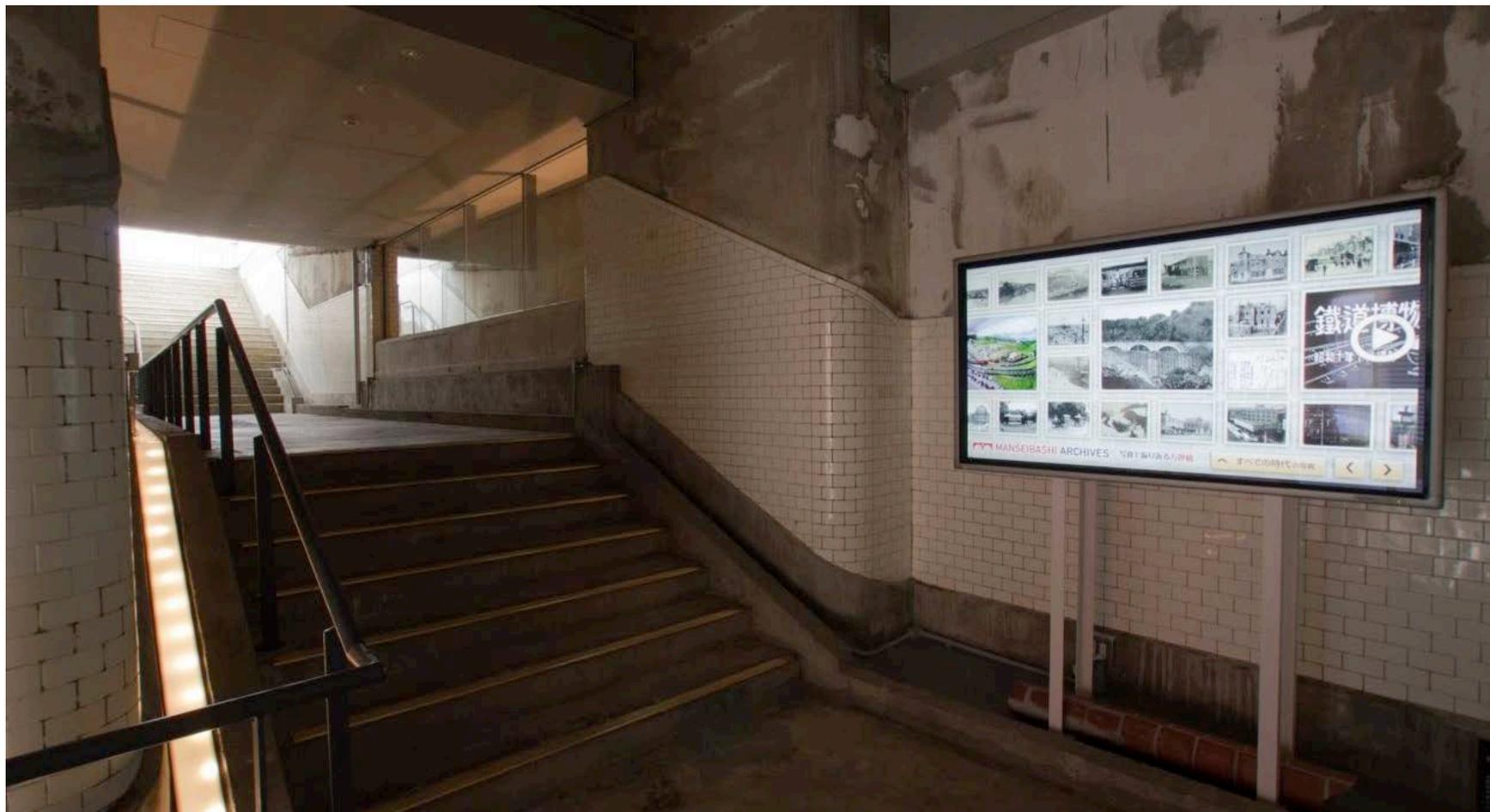
万世橋停車場

Copyright © JR東日本 All Rights Reserved.



撮影場所のマップ

万世橋アーカイブ



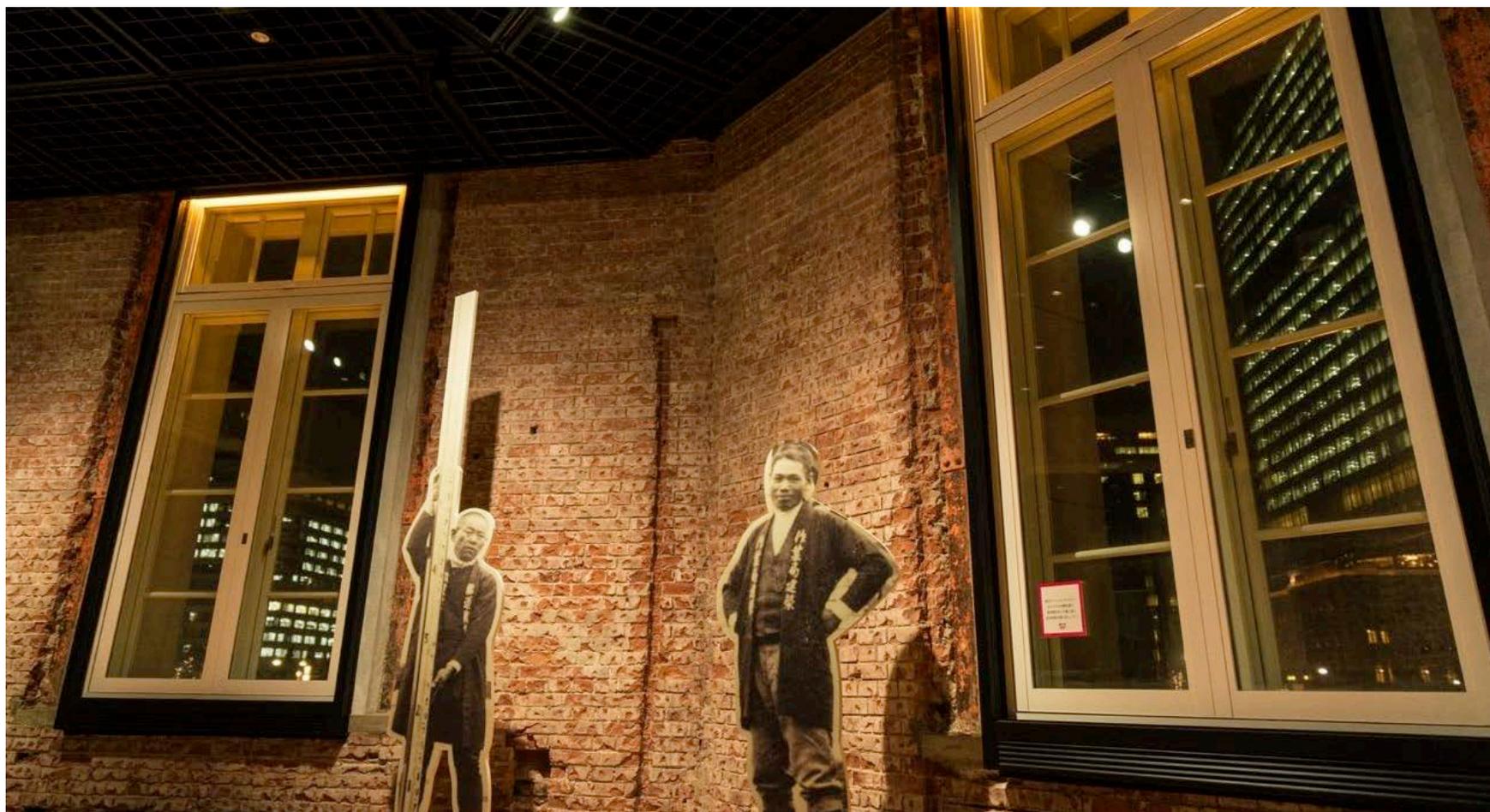
万世橋アーカイブ



スペシャル・オープン・ウィーク 東京ステーションギャラリー



職人さんパネル



高津区ふるさとアーカイブ

- 区制40周年記念誌『たかつ』
- 予約限定付録DVD
- 区制40周年記念写真展

- 高津区ふるさとアーカイブWEBサイト

- ワークショップ開催
- iPhoneアプリ「たかつぶらり」

区制40周年記念誌

- 高津区制40周年記念誌
『たかつ
ひと・まち・記憶』
- 予約限定付録DVD
「記憶のシャッター」



高津区ふるさとアーカイブ

高津区ふるさとアーカイブ
まちの記憶に出会う場所

イベント&お知らせ

- 2015年1月6日
高津区ふるさとアーカイブワークショップを2月1日(日)に開催します。
- 2014年4月1日
「高津区ふるさとアーカイブ」一般公開しました。

Windows: Internet Explorer 7, Safari 4,
Firefox 3 MacOSX: Safari 4, Firefox 3 以降
のWebブラウザでご覧いただけます。

お問い合わせ

川崎市高津区役所企画課
〒213-8570
川崎市高津区下作延2-8-1
電話: 044-861-3131
ファクス: 044-861-3103
メールアドレス:
67kikaku@city.kawasaki.jp

古い写真を収集しています

～「まちの記憶」眠っていませんか～

高津区では町並みや暮らしを記録した写真を収集しています。
古い写真をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

テーマと時代から 写真を見る

高津のまちの写真を「街道の町並み」「溝口駅の変遷」「戦争の記憶」「交通のまちづくり」など13のテーマから、時代毎に簡単に検索できます。

地図から 写真を見る

高津のまちの写真を、地図上の町名毎に簡単に検索できます。

写真を詳しく 検索する

キーワード検索など、高津のまちの写真をデジタルアーカイブ上で詳しく検索できます。

まちの こぼれ話を読む

一人ひとりの暮らしの歴史から鮮るあの時の高津。地元の方が語る、とっておきの高津のお話をご紹介します。

高津区ふるさと アーカイブ事業について

本事業の概要と2011年度に策定した基本構想はこちらをご覧ください。

このアーカイブの使い方

検索の仕方を動画でご覧になれます。写真データの使用方法もこちらをご覧ください。

テーマと時代から写真を見る



- テーマと時代から写真を見る >
- 地図から写真を見る >
- 写真を詳しく検索する >
- まちのこぼれ話を読む >
- 高津区ふるさとアーカイブ事業について >
- このアーカイブの使い方 >
- お問い合わせ

テーマと時代から写真を見る

アーカイブされた写真を各カテゴリーと時代から閲覧できます。

	戦前・戦中	戦後復興から高度経済成長期 (昭和20年～昭和46年)	高津区誕生以降 (昭和47年～平成8年)	溝口駅再開発以降 (平成9年～平成23年)
街道の町並み				
水辺の風景 ・円筒分水 ・二ヶ領用水 ・多摩川				

検索画面

高津区 ふるさと アーカイブ Takatsu Furusato Archive まちの記憶に出会う場所

キーワード AND OR

分類

資料ID

資料名

テーマ

撮影地域

年代

撮影時期

撮影日

資料解説

[[高津区ふるさとアーカイブトップへ](#)]

まちのこぼれ話



- テーマと時代から
写真を見る
- 地域から
写真を見る
- 写真を
詳しく検索する
- まちの
こぼれ話を読む
- 高津区ふるさと
アーカイブ事業について
- このアーカイブの
使い方

お問い合わせ
川崎市高津区役所企画課

〒213-8570
川崎市高津区下舟越2-8-1
電話：044-861-3131
ファクス：044-861-3103
メールアドレス：
67hokaku@city.kawasaki.jp

古い写真を
検索できます
「写真の公開」欄についてはこちら
高津区では旧中津藩しも記
した写真を収集しています。
古い写真をお持ちの方は、ぜひ
ご連絡ください。

まちのこぼれ話〈二子・瀬田・諏訪〉

昔は旦那衆がいて文化が育ってたよね



英 彦 夫 さん
(はなぶさ みちおさん)
昭和10年生まれ 78歳
川崎市高津区向丘在住

高津市民館で社会教育に携わる傍ら、
長年まちの様子を写真に収めてきた英彦さんのお話です。
(平成25年11月29日)

ご自身について教えてください

生まれたのは、東京の神楽坂。
空襲で家が焼け、あちこち転々として、最後にたどり着いたのがここ。昭和20年の10月からこちらに来た。住んでいたのは二子の大貫病院の裏で、253番地っていつでも今の人とはかなうかな。逆に今の番地は知らない(笑)。子どもだったら知らないことは解らないけど、父親が戦時中、今の消防署の前のあたりの工場に徴用されていた関係で、この辺に来たんだと思う。

こちらに越してこられた頃の印象は？

東京からこちらに来る前に、2〜3か月茨城にいたから、こへ来たときも田舎とは感じなかったけど。ただ、荒れているな〜と思ったね。というのも、あちらこちらに砲夷弾のかけらが落ちていたし、壊れた家もずいぶんあるし。その前にいた茨城は、空襲にあつていないから、昔ながらの農家、田園風景だった。いっばい落ちていた砲夷弾を拾ってきてドブ飯の代わりに使ったりしてね。再利用していた。六角形の筒だったから、縦に敷いて並べるとどぶ飯にもうど良いんだよな。

子どもの頃の遊びは？

多摩川で泳いだよ。で帰りは辺りのガキ大将にいじめられたんだよ(笑) 綱張りがあるんだ子どもなのに。二子の子はだいたいこの辺とかか、つてね。そこから下流になると瀬田や諏訪の瀬田だから。出て行っへって感懐されてね。瀬田や諏訪を仕切っていたガキ大将がいた。二子を仕切っていたのはいなかったなよ。小粒なのばかりだったから(笑) ボスがなかったんだよね。瀬田が主。その土地で代々生まれ育ってきたヤツがボスにならないと、絶対駄目だからね。
二子新堀のほうも、中学時代は遊び場所だったね。かくれんぼしたり鬼ごっこしたり。料亭は入り込んでいて、車が通らないところがあつたら。便利なんだよ。今は置をしちやって閉鎖になっているけど、川が荒れていてね。ここにも、料亭が竹で編んだ籠にウナギのそれこそ鮎だの魚をいれていたんだ。でっかい籠。それを盗りに子どもが行くんだ。いたずらでね。籠のなかに入っているウナギとかを照って盗ってきちゃう。

写真を多く撮られています、写真館をされていたんですか？

写真館じゃないけど、その日暮らしの生活資金を稼ぐために頼まれたら出かけていって写真を撮っていたよ。うちは写真機を持っていたから雇ってもらって、現像したり、引き伸ばしたり。あの頃二子の花壇は結構商売になったんだよね。旦那連中が来て、記念撮影するから写真屋で来て呼ばれてね。高津に公民館ができばつかりのときは、英彦さんの発案を撮影して何年か行ったもんね。今児童公園の、あそこ。あそこにかまぼこ屋。お客さん400人くらいで賑わってなるとは。あそこが空襲後の



ワークショップ



たかつぶらり



津田山駅・踏み切りの様子 昭和37年

津田山駅から霊園に向かう坂道です。後ろは全部不同、階段は何もありません。

資料を「集めて」「保存し」「活用する」循環をつくる・・・その循環（輪）の中に
地域の人が「参加」することでアーカイブを活かし、コミュニティ継承につなげる

【地域を語る資料例】

- 行政文書や地域に残存した古文書
- 各年代ごとの古地図や古写真
- 昔のまちを知る人からのオーラルヒストリー等

